

平成 23 年度 福島大学大学院 人間発達文化研究科 第 3 次学生募集のお知らせ

入試
説明会

平成 23 年 2 月 14 日 (月) 18:30~
コラッセふくしま 5 階 研修室 A

■ 入学試験の方法

- 一般入試：専攻ごとに学力筆記試験、面接、及び出願書類審査を行います。
- 現職教員特別入試：現職の教員を対象に、提出された教育実践レポートに基づく面接、及び出願書類審査を行います。

■ 出願資格 募集要項を参照してください。

■ 募集人員

教職教育専攻一若干名
地域文化創造専攻一若干名
学校臨床心理専攻一若干名（臨床心理領域は募集しません）

■ 入学試験日程

- 募集期間：平成 23 年 2 月 21 日(月)~24 日(木) 午後 5 時まで
- 試験日：平成 23 年 3 月 15 日(火)
- 合格発表：平成 23 年 3 月 20 日(日) 午前 11 時
詳しくは、入試課までお問い合わせ下さい。

●大学院では、一人ひとりが研究者として尊重され、自由な研究が保証されます。

●一人ひとりのニーズに合わせて研究内容を組み立てることができます。

●院生室などの研究環境が用意され、安定した研究生活を送ることができます。

●研究を通して、人や諸機関とのつながりが一気に広がります。

●免許の取得や附属学校での実習など、ニーズに応じてキャリアアップの機会が提供されます。

人間発達文化研究科は、
学びたいあなたのための大学院です。

研究科の概要

人間発達文化研究科は、地域の抱える課題を克服し、次世代を切り開いていくために、人間発達文化学類の教育理念を発展させ、今日必要とされる高度な知識・技術をもって人材育成を図る「人材育成のエキスパート」を養成します。「エキスパート」とは、「経験を通して得た知識を持つ熟練者」を意味します。人間個体の発達や集団的な展開、地域生活と文化を学際的に結びつけ、一体的に研究していくことは、今日の教育や地域を発展させていく上で重要な課題です。

教職教育専攻

学校現場で必要とされる教育方法、教育内容、教育理念の高次な統合を目指し、学校改革・授業改革に結びつけるための実践的研究を行い、高い専門性を持つ〈エキスパート教員〉の養成をめざします。

学校教育領域

学校を中心とした地域における教育システムの研究、教員の専門性向上のための研究、及び人間個体と集団の発達・成長を中心とした人間発達についての総合的な研究を行います。

カリキュラム開発領域

文化内容の伝達や再構成についての研究を基盤として、各校種・各教科・各領域の教育内容論や指導論など、カリキュラム実践及び開発の研究を行います。

地域文化創造専攻

諸文化を構成する専門的学問分野における研究・実践力を形成するとともに、地域支援に必要なコーディネート力及び人材育成力をあわせもつ〈地域支援エキスパート〉の養成を目指します。

日英言語文化領域

言語研究・文学研究を通じて人間や社会に対する深い洞察力を身につけ、文化の橋渡し役として、文化の継承・伝達・創造に寄与する能力を身につけた人材を育成します。

地域生活文化領域

社会科学と生活科学全般をつなぎ合わせ、現代の社会の実態を把握するための研究方法を身につけ、現代社会が生み出す複合的問題の解決を目指す能力を身につけます。

数理科学領域

数理諸科学の研究を通して、自然や社会の事象を数理的・論理的・整合的に認識するための教育・研究を行い、社会や企業などの組織で十分に応用できる人材の育成を行います。

スポーツ健康科学領域

現代におけるスポーツ・体育・健康の諸問題を科学的認識に基づいて解決し、スポーツ文化の発展や、人々の健康的なライフスタイル確立に貢献できる高度な職業人を育成します。

芸術文化領域

音楽や美術表現の専門的なスキルの獲得及び表現の理論を基礎におき、表現活動を通して地域再生、活性化に結びつけることのできる人材を育成します。

学校臨床心理専攻

臨床心理学及び学校福祉の臨床的な実践研究に基づき、様々な課題を抱える子ども・青年やその家族に対応する効果的な指導・援助・支援を行う〈発達支援エキスパート〉の養成を目指します。

臨床心理領域 ※今入学試験では臨床心理領域は募集しません。

円滑に学校生活を送ることを目指す教育臨床と、子どもの発達に関わる発達臨床、精神障害を対象とした病院臨床、非行問題等の心理臨床などのアプローチを行います。

学校福祉臨床領域

子どもの生活指導、教育相談、学級経営、学校保健・健康教育などの教育福祉を対象とした実践研究、及び教育実践のための授業臨床や学級指導などの実践的研究を行います。

■履修年限 2年（長期履修制度適用の場合4年）

■修了要件 2年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で修了研究の審査に合格した者には、修士の学位が授与されます。

■学位（すべて専修免許状に対応しています）

教職教育専攻……修士（教育学）

地域文化創造専攻……修士（地域文化）

学校臨床心理専攻……修士（教育学）

■取得できる専修免許状

幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校（国語、社会、数学、英語、家庭科、音楽、美術、保健体育）、高校（国語、地歴、公民、数学、英語、家庭科、音楽、美術、保健体育）

履修基準

区分	教職教育専攻	地域文化創造専攻	学校臨床心理専攻
専攻共通科目	2	2	（基礎論 6～8）
領域共通科目	2	2	（方法論 4～6）
専攻専門科目	14	14	（実践論 6）
課題研究	4	4	（実践研究Ⅰ・Ⅱ 2）
専門演習	4	4	（課題研究Ⅰ・Ⅱ 2）
自由選択	4	-	8
領域間連携科目	-	4	-
合計	30	30	30

教育課程の特色

1 人材育成を標榜したカリキュラム構造

高度専門職業人を養成するために、「専門探究力」を高める「課題研究」に加え、「コーディネート力」や「人材育成力」を育成するための「専攻共通科目」、「領域共通科目」、「領域間連携科目」、「専門演習」を配置しました。また「実践研究」、「プロジェクト実践研究Ⅰ・Ⅱ」を履修し、フィールドでの実践を修了研究に結びつけることもできます。（教職教育専攻、地域文化創造専攻のみ）

2 大学院学生相互の研究交流の重視

今日、高度専門職業人に必要とされる「省察の実践力」（自他の実践を省察することによって得られる実践力）を身につける機会を授業として位置づけ、学生間の研究交流による「実践コミュニティ」の形成をめざした「領域コミュニティ」を各領域に配しています。（教職教育専攻、地域文化創造専攻のみ）

3 学校現場と連携した高度な教員研修、コースワーク

スクールリーダーやスーパーティーチャーなど、今日学校現場で必要とされる現代的な教育課題に対応できる教員を養成するために、学校現場と連携を取った教員養成・教員研修を行います。

4 研究しながら教員免許状等の資格取得が可能

大学院での研究をしながら、学類の科目を履修することができます（半期で大学院の受講科目と合わせて24単位まで）。これにより学士課程で取得できなかった必要な教員免許状などの資格を取得することが可能です。（臨床心理領域をのぞく）

ただし、既取得単位や既取得免許状、学士課程の課程認定の種類などによって条件が異なり、また教育実習などに条件があるので、取得を希望する場合は、あらかじめ問い合わせをしてください。

5 多様な修了研究形式

修了研究の形式を修士論文以外に修了演奏や修了制作、プロジェクト研究も選択することができます。学生は、自らの興味関心や将来の進路の希望に即して、修了研究の形式を選択し、研究指導教員の指導のもとで、修士レベルの研究を計画的に進めていきます。（各領域により異なります）

6 複数指導教員による多面的指導

修了研究は主指導教員と副指導教員の複数指導体制で研究を進めます。両者は、学生の研究テーマに即したより有効な研究方法や指導方法について学生と話し合い、研究のまとめまでを一貫して指導を進めていきます。（教職教育専攻、地域文化創造専攻のみ）

7 現職のまま学べる多様な履修形態

学校臨床心理専攻では、現職に就いたまま学ぶことができるよう、昼夜開講制やサテライト教室でのテレビ会議システムを利用した授業を導入し、また、長期履修制度による4年までの長期履修に対応しています。